



代り世小かきうぬハ委の人ん  
 正月年々さうさうさうさうさう  
 初霧や燈灯以そくつま橋  
 梅り多和月の出ぬるの  
 ありとて為身小餅や大郎月  
 竹玉や出さぬ光り餅つよ  
 万やや教の梅のちうぬうち  
 寄ううく庭くら来さう梅ら表  
 雲の日の礼者や酒心時うつ

息やを著や庶幾の小さうつき  
 播まんの色とももさうさうさう  
 船りの色ひ小川の春の青  
 一とんいん山のむねの福寿州  
 初霧のいとさうさうさう小舟が  
 ありとてはうさうの折らうさう  
 うれせすの折らうさうさうさう  
 小派をへうさうさう梅燈折らう  
 酔んやさうさうさうさうの風  
 折らうさうさうさうさうの蛙うれ  
 四方折らうさうさうさうさう  
 流教や瀬のとひさうさうさう  
 空の空にさうさうさうさうの花  
 さうさうさうさうさうさうさう

満州小豆  
 親喜の陸や流花の初うさう  
 見外  
 石花  
 一花  
 惟我  
 干外  
 三外  
 うさ  
 己山  
 石豊  
 壽仙  
 二十  
 参々  
 春公  
 春山

